

## 【教育振興基本計画審議会委員からの総括的意見】

令和6年度は、第2次厚木市教育振興基本計画第2期実施計画の初年度です。各事業における事業指標の達成状況について、「順調」又は「おおむね順調」と評価されたものが9割以上を占めており、第2次厚木市教育振興基本計画の着実な推進が図られていることが伺えます。

こどもたちの「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の育成に資する多くの意義深い事業が実施されており、今後更なる拡充が望まれます。特に児童・生徒の教育的ニーズが多様化し、増加傾向にある中、一人一人が適切な環境で学べるようにするためには、人的・財政的な支援の確保が極めて重要であり、複数の事業に共通する喫緊の課題ですので、引き続き、的確な対応により事業を推進していただきたいと考えます。

また、依然として物価の高騰が家計を圧迫する状況が続いていることから、保護者の経済的負担を軽減するための施策は非常に有効であり、今後も全てのこどもたちの学習の機会を確保する観点から、積極的な取組の継続と強化をお願いします。

こどもたちの健やかな成長を支えるとともに、市民の皆様が心豊かに日々を過ごせるようにするためには、教育環境の一層の充実が求められます。支援体制や支援内容の強化、学校施設の計画的な整備、そして家庭・地域・学校が連携した取組の推進などを通じて、各事業をより有効な教育施策へと発展させていく必要があります。

審議会では、多くの事業において、設定された事業指標の妥当性についての議論がなされました。目標値に達していない事業については、その要因を多角的に検証するとともに、事業の進捗状況を的確に可視化し、事業の効果を上げていくためにもより適切な指標の設定に努めていただくようお願いいたします。

点検を通じて、各事業が工夫を凝らして推進されている様子が伺えました。市民の皆様、そして、未来を担うこどもたちのために、より良い教育環境の実現に向けて、将来を見据えた積極的な事業展開を期待します。